

2020年度シカ捕獲実績

～有害捕獲での目標5,000頭達成～

2014年度から、年間のシカ捕獲頭数の目標を6,500頭（※1 有害捕獲5,000頭、※2 狩猟1,500頭）として、市有害鳥獣捕獲班と連携しながら、シカ有害被害撲滅大作戦を実施してきた。

作戦開始から7年連続で年間捕獲目標数6,500頭を達成した上、2020年度は初めて有害捕獲での目標数5,000頭を達成できた。

※1 有害捕獲…農林水産業または生態系等に係る被害の防止目的で鳥獣の捕獲等または鳥類の卵採取等を行うこと。都道府県知事等への許可申請が必要。

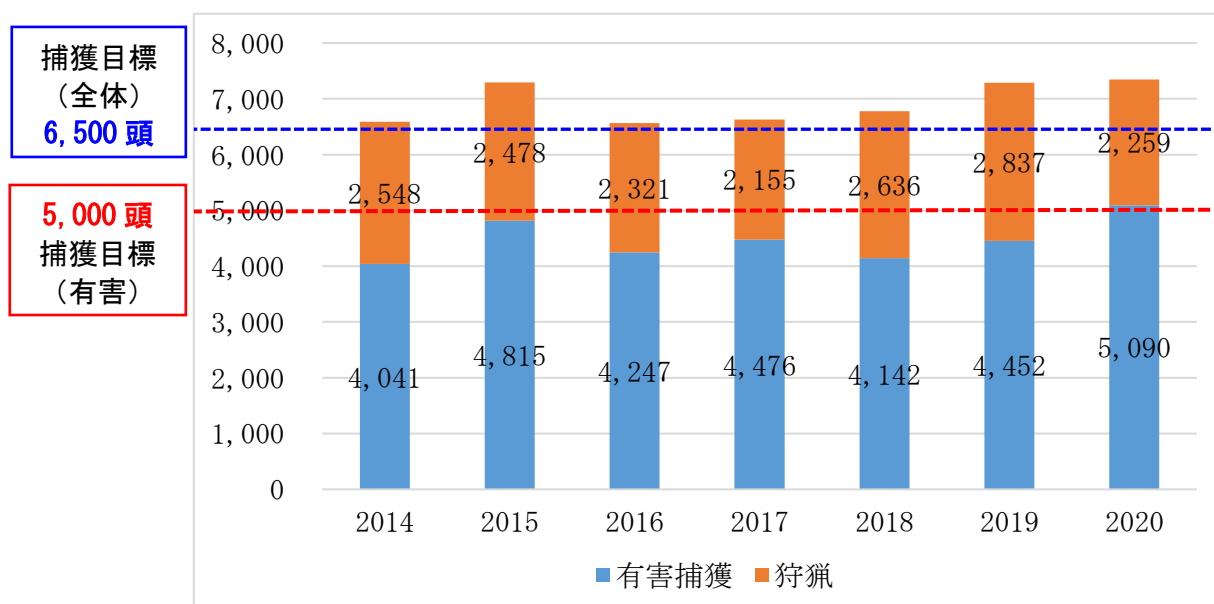
※2 狩猟…狩猟期間に、法定狩猟により狩猟鳥獣の捕獲等を行うこと。許可申請は不要だが、毎年度の登録が必要。

1 捕獲実績

(1) 捕獲種別捕獲数（有害捕獲＋狩猟による捕獲）

2019年度までは、狩猟が年間捕獲目標数を大きく上回ったことにより、全体の年間捕獲目標6,500頭を6年連続で達成してきた。2020年度は、有害捕獲での年間捕獲数が5,090頭となり、初めて目標数5,000頭を達成した。（単位：頭）

種別		年間 目標	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	7カ年 合計
有害 捕獲	銃 猟	650	779	652	461	383	367	280	476	3,398
	わな猟	4,350	3,262	4,163	3,786	4,093	3,775	4,172	4,614	27,865
計		5,000	4,041	4,815	4,247	4,476	4,142	4,452	5,090	31,263
狩 猟		1,500	2,548	2,478	2,321	2,155	2,636	2,837	2,259	17,234
合 計		6,500	6,589	7,293	6,568	6,631	6,778	7,289	7,349	48,497

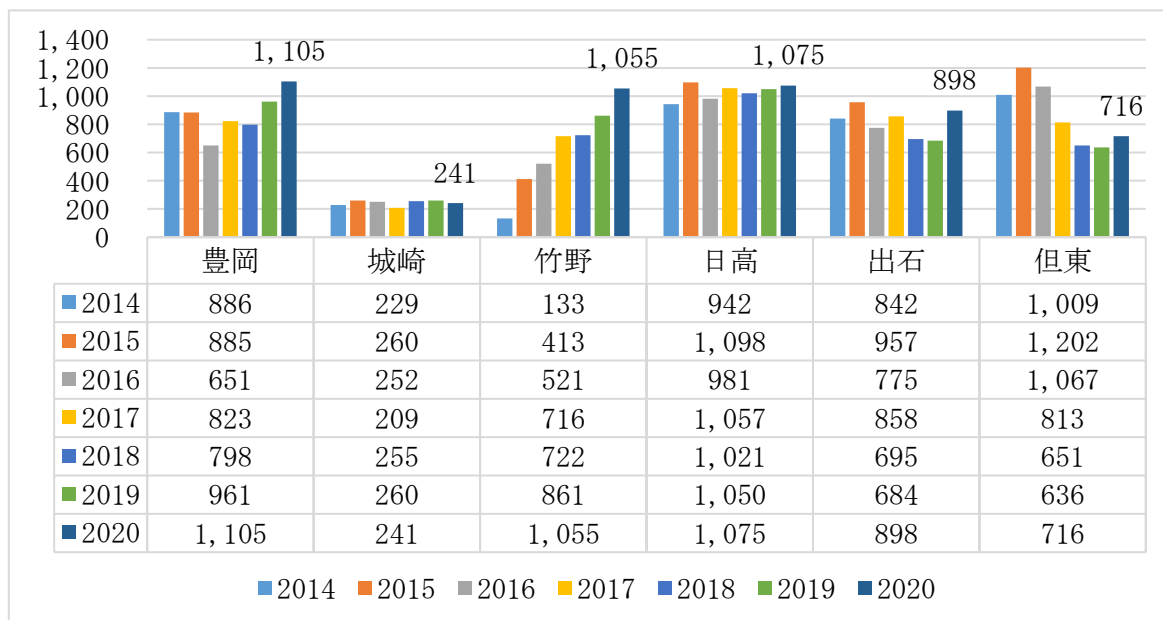


(2) 有害捕獲地域別捕獲数

2020年度の地域別の捕獲数上位は、豊岡地域1,105頭、日高地域1,075頭、竹野地域1,055頭である。

また、年次推移でみると、豊岡・竹野地域は増加傾向にあり、但東地域は減少傾向にあることから、シカの生息域が北上（比較的北西の方向へ移動）していると推測できる。

(単位：頭)



(3) 県下市町別捕獲数（捕獲数トップ3）

2017年度から3年間の県下市町別捕獲数は、3年連続で1位豊岡市、2位養父市となっている。

(単位：頭)

順位	2019年度		2018年度		2017年度	
1	豊岡市	7,725	豊岡市	7,113	豊岡市	6,942
2	養父市	3,808	養父市	3,762	養父市	3,811
3	香美町	3,131	宍粟市	2,587	宍粟市	2,503
	県合計	40,937	県合計	37,234	県合計	37,675

出典：兵庫県第2期ニホンジカ管理計画R3、R2、H31年度事業実施計画

* 捕獲数は狩猟と有害捕獲の合計。市と県の集計方法が異なるため捕獲数値が異なる。

2 市の今後の対応策

2020年度からシカ有害被害撲滅大作戦の第3期計画（1期3年）を開始しており、2021年度以降も引き続きシカの生息状況に応じた“隙間の無い捕獲”に取り組み、農林業及び植生被害の減少を図る。

特に第3期計画で新設した「※3 流し撃ち部隊」で、高標高地など捕獲困難地域に定着しつつあるシカの対策を進める。

※3 流し撃ち部隊…流し猟（林道等を車で移動し、シカがいれば車から降りて射撃する捕獲方法）による捕獲を実施する部隊